

国語の傾向と対策

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容	設問形式
A方式 11月1日 問題▶P.20～	第一問	評論	小川靖彦 『万葉集と日本人』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択 近現代文学史含む) 語句の意味 内容把握 論旨合致判定
	第二問	随筆	外山滋比古 『思考の整理学』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味(文脈判断) 理由把握 内容合致判定 タイトルの判定
A方式 11月2日 問題▶P.25～	第一問	随筆	辻芳樹 『和食の知られざる世界』	漢字(選択) 語句の意味 空欄補充(故事成語 四字熟語など) 文学史(現代) 理由把握 内容把握 内容合致判定
	第二問	評論	中村桂子 『科学者が人間であること』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 内容把握 筆者の主張の把握 タイトルの判定
B方式 12月13日 問題▶P.30～	第一問	小説	岡本かの子 『鶴は病みき』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 内容把握 心情把握 理由把握 語句の説明(文脈判断)
	第二問	随筆	榎本博明 『〈ほんとうの自分〉のつくり方』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択 文脈判断) 語句の意味(文脈判断) 理由把握 内容把握 内容合致判定

傾向 全て現代文からの出題で、基本・標準レベルの問題が中心。

1…出題形式

問題文は全て現代文で、Aは評論と随筆の二題、Bは小説と随筆の二題という構成になっている。全問、マークシート方式の選択問題で、四者択一が多いが、一部に五者択一や六者から二つを選ぶ問題もある。マーク数は、Aが32と31、Bが32で、ほぼ一定である。

2…出題内容

評論と随筆の出題が多いが、Bでは小説も出題されている。ただし、随筆も評論に近い論理的な内容の文章が多く、小説の出題も論理的な面を問う問題が多い。全般的には、文章の論理を的確に読み取っているかどうかを問う問題が主として出題されている。全て選択形式の問題だが、文脈を読み取った上で空欄を補充する問題、内容にふさわしいタイトルを選ぶ問題など、多様な形式で出題されている。また、部分の細かい論旨の展開にかかわるものと、文章全体の内容にかかわるものの双方が出題されている。

漢字は、同音の漢字から適切なものを選ぶ問題で、全て熟語からの出題。同音異義語が絡んでいるものがある。語句の意味の問題は頻出。前後の文脈から判断しなければならないものも見受けられる。また、文学史の問題も出題されている。

3…難易度

知識問題、読解問題ともに極端な難問はなく、基礎から標準レベルの問題である。知識問題では、漢字、語句の意味、文学史などの基本的な知識を問う問題が中心。ただし、文章中の空欄にあてはまるものを選ぶ形での出題が多いので、文脈判断が必要となる。読解問題のほとんどは、文章中に根拠が述べられているが、問題文の内容を注意深く見きわめ、選択肢と照らし合わせなければならないものも出題されている。選択肢相互の微妙な違いを把握し、文章の内容と注意深く照らし合わせるようにしたい。また、文章全体の主題や内容、そこから読み取れる筆者の主張を問う問題も出題されているので、文章の全体像を捉える力も求められる。

対策 言葉や文学史に関する基礎的な知識と論理的な読解力を身につける。

1…出題形式書を基本に学習しよう!

漢字・語句の意味とともに確実な知識を身につけておこう。同音異義語が絡んでいる出題もあるので、使い分けられるようにする。近・現代の文学史も、おさえておく必要がある。主要な小説家や詩人、歌人などは、その作品名と、(自然主義・白樺派などの) 属する潮流を整理しておきたい。

2…論理的な読解力をしっかり養おう

指示語、接続語などに着目して、文章を読み解く力を身につけよう。これらは、論理的文章を構成する最も基本的な要素である。こうした語を手がかりに、文章の論理的な構成を把握する力を身につけ、それをもとに、筆者が何を問題にし、

どのような理由・根拠をもって、どのような結論を導いているかをしっかりと捉えられるようにしましょう。また、一般に論理的文章では、対立する二つの要素を比較・検討しつつ論を進めていく場合が多い。何と何が、どんな点で対比されているのかをつかむ力を身につけよう。

3…さまざまな文章に親しみ、類題演習を数多くこなそう

評論、随筆、小説とさまざまな分野の文章に親しんでおこう。自然科学・近代社会・環境問題など、できるだけ幅広い分野のものに触れておくのが望ましい。類題を数多く解いて、文章と選択肢を照らし合わせる手順に慣れるとともに、制限時間内に解けるスピードも身につけるようにしたい。